



歩こうかい 1 月例会(通算 389 回)



## 初詣・新年会

### 九重みりん蔵と大浜てらまち散歩

2024 年 1 月 11 日(木)

天気:曇りのち晴れ ・参加者 17 名 <10,000 歩>

名鉄碧南駅・・・志貴毘沙門天(初詣)・・・藤井達吉現代美術館・・・九重みりん蔵・・・大正館(新年会)・・・大浜てらまち散歩

上空は薄曇りでやや肌寒い名鉄碧南駅に 10 時 10 分集合。まずは志貴毘沙門天(妙福寺)に初詣。鐘楼門をくぐる  
と本堂と毘沙門堂が並んで建っている。毘沙門堂には聖徳太子作と伝えられる日本三体毘沙門の 1 体が安置されて  
おり、商売繁盛、家内安全に霊験あらたかなことから、毎月 3 日の例祭には参詣者で賑わう。又、徳川家康が武運祈  
願したといわれ、勝運の神・毘沙門さんとしても親しまれている。



妙福寺鐘楼門



参拝風景

参拝を終え同じ道を名鉄碧南駅まで戻り大浜てらまちへ。九重みりん蔵ガイドツアーまでの 20 分程の待ち時間で  
藤井達吉現代美術館を見学する。

みりん蔵に着くと玄関で案内係の方が出迎え、帽子のない会員に白いネットが配られる。蔵の中では髪の毛 1 本  
落ちないように衛生管理が徹底されている。みりんは戦国時代、江戸時代には「甘いお酒」として飲用されていたという  
記述もあるとのこと、みりん蔵の中はほんのり甘い香りが漂っている。

250 年続く九重みりんの製造工程をパネルで紹介いただいた後、作業場の一部※槽場(ふなば)、古文書や古道  
具を展示した九重みりん時代館を見学する。

蔵の前で集合場所を撮り、新年会会場の大正館に向かう。

※槽場・・・もろみを絞る場所。もろみを詰めた沢山の袋を大きな槽に積み上げ、上から圧縮して絞り出す。



パネルを見ながら製造工程を聞く



九重みりん資料館



九重みりん資料館



みりん蔵



みりん蔵の前で集合写真



大正館は大正 5 年(1916)創業で、三河鉄道大浜湊駅前(現名古屋鉄道碧南駅)に旅館業として開業の老舗。  
森会長の新年挨拶と乾杯の発声で新年会がスタート。美味しい料理にアルコールも入り、楽しいひと時を過ごす。



新年会を終え、飲み足りない二次会組「アルコール会」と、みりんアイスクリームが食べたい組「てらまち歩こう会」  
に別れ、13 時 30 分頃解散する。 記: 奥村正忠



大浜まちかどサロン前



大浜旬彩 大正館(12月1日下見で撮影)



西方寺・右奥に九重味醂大蔵